

◆川柳

# 令和の声

背を伸ばす令和の声に爺様も

新令和似合いに見える令夫人

部屋ごとに豆撒く妻の願い事

二月チヨコ貰ったばかりに今の妻

親の背は膏葉貼つても子は見てる

## 原俊夫 (高9回)

●はら・としお

現役時代は、技術畑でしたが、齢67から伝統の太平洋美術会の画家で委員なども務めています。そして今80になっては囲碁やゴルフに加え、横好きが広がり随筆書きにも夢中です。所詮、年金の碌を食んで長生きしてるから「元氣だがゴクツプシの身で肩すほめ」です。

# 運転免許返納

運転は記憶力より操作力

免許証返さなくても神棚へ

ペーパーのゴールド免許手放さず

助手席に紙ゴールドの守り神

ゴールドが試験場内逆走し

## 萩元久志 (高17回)

●はぎもと・ひさし

柳号・高下駄。千代出身。飯田高校在校中は菁々寮でお世話になりました。卒業後は国税関係の職場を40余年、退職後は税理士。OBの会、田舎の会などの世話役も。時々参加するゴルフが平日でできることがあります。生活の中で感じるいろいろなギャップなどを五七五の川柳に表現することが面白く、今回、運転免許証に関して作ってみました。

# 手繰り糸

リニアなる生き甲斐芽吹く愛し故郷

卒業写真記憶の繭の手繰り糸

尋ね来て夢の在りかは芒原

鹿威しボンと静寂に空ける孔

針葉樹刺さる眼差しヒュルリ冬

## 宮下恭一 (高18回)

●みやした・きょういち

柳号・二穂(いっほ)。飯田市大通り2(羽場3区)出身。還暦を機に、趣味として川柳を学び始めました。師は十六代桜木庵尾藤川柳。所属は、川柳公論社の誹風会。今年が初代川柳生誕300年に当たる大きな節目。川柳という文化の辿ってきた道に思いを馳せています。こころの内面を吐露する創作川柳を目指し、いっほいっほ道を踏みしめて歩いていきたい。